

キーストンプレート一体成形梁打込み型枠

セコフォーム

型枠工事の効率化に貢献



セコフォームなら 工期短縮と作業の効率化を 実現します

キーストンプレートを一体成形したセコフォームは、従来の型枠工事の概念を大きく変える梁打込み型枠です。工場生産による優れた精度品質、セコフォームをセットするだけという簡単な作業、軽量であることによる作業効率の良さ、コンクリート打設後の型枠脱型作業が不要……。こうした多彩な特長が、型枠工事の工期短縮と作業の合理化に大きく貢献します。また、工事後は梁と一体化するため残材も発生しません。



セコフォーム 7つの 特長

工期の短縮 合理化がはかれます

施工図に基づきあらかじめ工場生産するため、現場では搬入したセコフォームを通常梁受け支保工の上にセットするだけ。すぐに配筋・コンクリート打設を開始できます。

1

ノンセパレータ工法を 可能にします

セコ高850mm以下の場合、上部に開き止め板を取付けるだけ。セパレータを使わずにコンクリート打設が可能です。

2

軽量で 作業効率が抜群

溶融亜鉛メッキ鋼板を使用することで、セコフォームは従来のベニヤに比べて、大幅な軽量化を実現。揚重機などが使用できない場合でも、人手で運べる重さに分割して取り付けることができます。

3

脱型不要だから 残材が発生しません。

廃棄物がでることなく処理費用を削減することも可能です。

4

発注サイズは 自由です

梁巾、梁高および梁長などをご要望の仕様にあわせることができます。

5

梁貫通スリーブ孔の加工も 事前に処理できます

スリーブ孔の加工は、あらかじめ処理できます。

6

電磁波のシールド 効果があります

電磁漏洩やノイズなどに関する対策が手軽に行えます。

7

工場生産による優れた技術が 高精度・高品質を 実現します

建物の出来栄に大きく影響する型枠の精度
私たちは工場生産による優れた製品精度でお届けします

セコフォーム部材の寸法

種類	寸法 (単位: mm)
仕口板 (側・底)	t=0.8×190(w)
キーストンプレート (製品形状)	t=(0.6~0.8)×650(w)×25(山高)
ランナー	(デッキの場合) t=1.5×(25+38+35)×L (床在来型枠の場合) t=1.4×(25+29+35)×L
ジョイントプレート	t=1.2×260(w)
巾止め板	t=1.2×25(w) (L=梁巾+70), ビス孔4φ

セコフォームの製造可能寸法

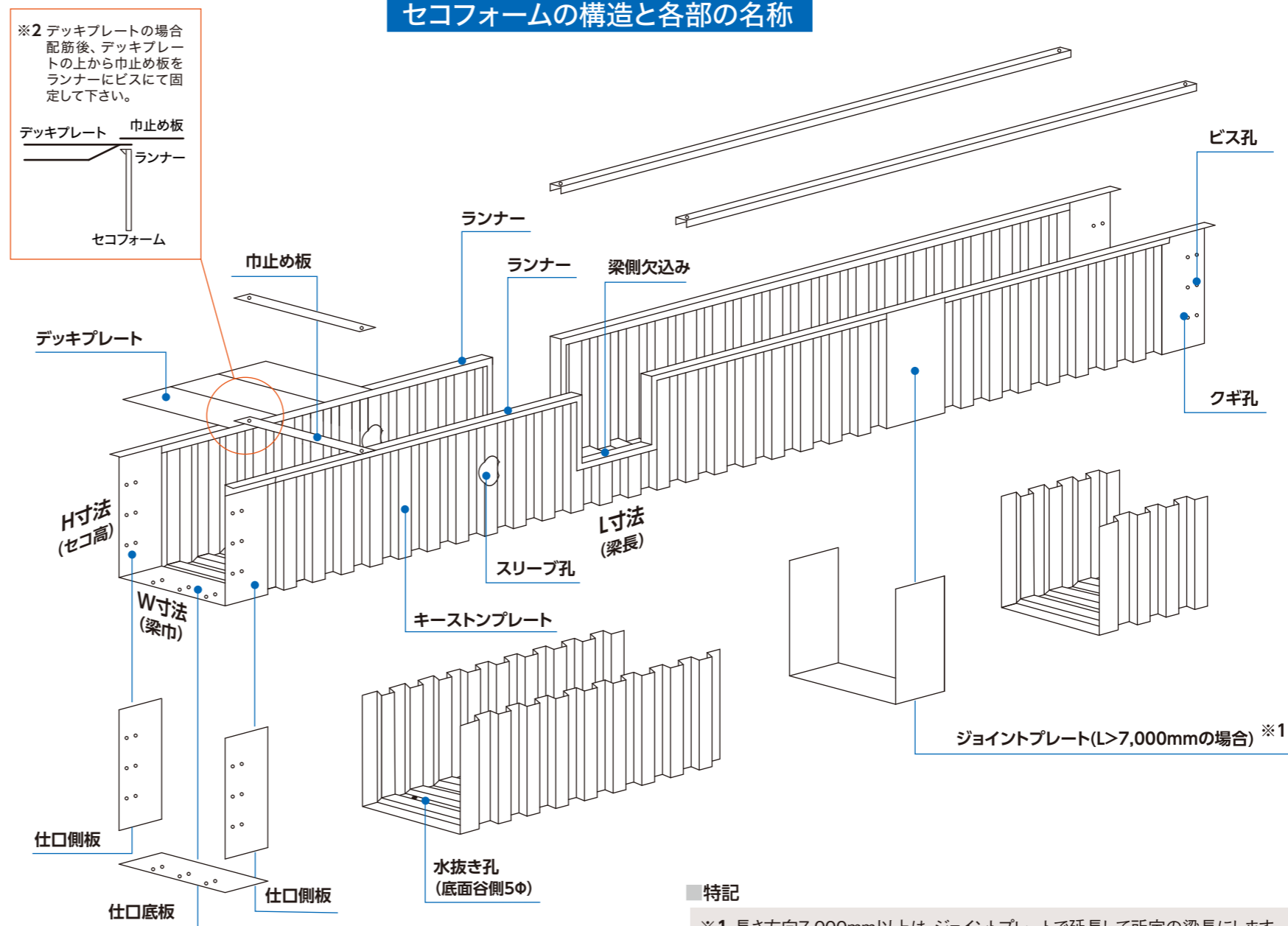
項目	製造可能寸法
幅 (W)	1,000mmまで
高さ (H)	1,000mmまで
長さ (L)	7,000mmまで
スリーブ孔径	任意(管径+10)

※ 上記以外の場合は、別途お問い合わせください。但し展開巾(梁幅+両側の高さ)は、2,800mm以下です。

セコフォームの寸法許容差

項目	項目	許容差
W寸法	梁巾	±5
H寸法	セコ高	~5±0
L寸法	梁長	0~-10
	曲り(そり)	-2~±0(2/1000以下)
スリーブ孔径	孔径	0~+10

セコフォームの構造と各部の名称



※2 デッキプレートの場合
配筋後、デッキプレート
の上から巾止め板を
ランナーにビスにて固
定して下さい。

特記

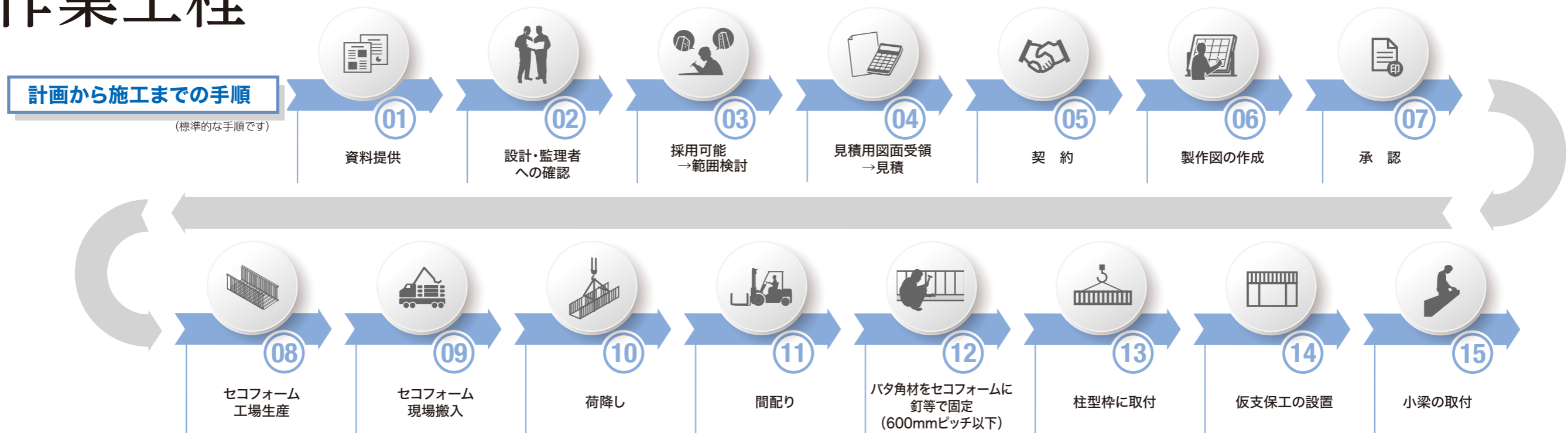
- ※1 長さ方向7,000mm以上は、ジョイントプレートで延長して所定の梁長にします。
- ※2 上部に巾止め板を別表-1の通り、取付けてください。
- ※3 セコ高(H)が850mmを超える場合は、側面中間部にセパレーターを使用してください。
- ※4 セパレーター用孔(10φ)は、所定の位置に90mmピッチであけます。
(不要な孔用のふさぎ栓もあります)

別表-1

(スラブ厚 150mmの場合)

セコ高	巾止めピッチ(目安)	巾止めピッチ
h ≤ 450	1,000mmピッチ	デッキプレートビス止め(200mmピッチ)と 併用の場合600~1,000mmピッチ
450 < h ≤ 650	500mmピッチ	
650 < h ≤ 800	400mmピッチ	
800 < h ≤ 850	300mmピッチ	

型枠作業を合理化した迅速な作業工程



08 工場生産



09 搬入



10 11 荷降し・間配り



13 クレーンを使用して柱型枠に取付



14 仮支保工の設置



15 小梁のセット

セコフォームの実施例



梁、床ともに打込み型枠で施工した例



免震用梁の施工例



ハイリフトを使用した例



■ご注意



- ① CON打設前に、スラブを荷取ステージとして利用する場合は梁側の型枠に荷重を掛けない様、スラブ下に別途支保工が必要となります。
- ② 搬入時、資材の落下やずり落ちによるケガを 방지、腰を痛めないようにしてください（現場での小運搬は無理のないようご注意ください）。
- ③ 鋼材の切り口は鋭利であり、また、切断時にはバリも生じやすいので、手を傷つけないようにしてください（皮手袋等の保護手袋を着用してください）。
- ④ 素手による取り扱い、または素肌の露出部は、ケガをするおそれがありますのでご注意ください（素肌はなるべくさけるような服装にしてください）。
- ⑤ 梱包用スチールバンドおよび針金等の切断時のはねあがりなどによるケガが生じますのでご注意ください（梱包を解く場合は状況を判断しながら作業をしてください）。
- ⑥ 搬入時や保管時のクレーン荷揚げ等による運搬に際しては、布製平型吊りバンドを使用するなど、製品の角や表面の損傷に注意してください。また、製品の上に重い物を乗せないでください。

本カタログに掲載されている内容は、製品についての情報提供を目的とするもので、規格として明記したもの以外は品質を保証するものではありません。
本カタログに記載されている情報の誤使用または不適切な使用により生じた損害については責任を負いかねますのでご了承ください。
本カタログに記載されている内容は、今後予告なしに変更されることがありますので、最新の情報についてはお問い合わせください。

製造元



関包スチール株式会社

■お問い合わせ先

東京本社

〒104-0031 東京都中央区京橋2-13-10 京橋MIDビル2F
TEL.03-6225-2192 FAX.03-6225-2193



URL <http://www.kanpoh.co.jp>

本 社

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-6-21 TEL.06-6449-8811 FAX.06-6459-4665

鹿島工場

〒314-0012 茨城県鹿嶋市平井2270 TEL.0299-82-3841 FAX.0299-90-3122